

令和8年度 第1回 逗子市健康増進・食育推進計画懇話会 概要

日 時：令和8年5月28日（木）午後2時00分～午後3時40分

場 所：逗子市役所5階 第3会議室

出席者（敬称略）：

【市民メンバー】 池田 カツエ、村松 雅、渡邊 喬

【関係団体】 田中 悦生（公益財団法人逗葉地域医療センター）

石原 知世（公益財団法人逗子市スポーツ協会）、

及川 佳寿美（逗子市食生活改善推進団体 若宮会）、

草柳 聡一（湘南漁業協同組合小坪支所）

川畑 明日香（鎌倉保健福祉事務所）

【アドバイザー】 北岡 英子（前 湘南鎌倉医療大学 看護学部公衆衛生看護学領域 教授）

駿藤 晶子（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉部栄養学科 准教授）

【事務局】 山下（課長）、青山（副主幹）、梶山（副主幹）、角田、岡田、佐藤

議事概要：

1 開 会

国保健康課長より開会の挨拶を行った。

2 議 題

（1）逗子市健康増進・食育推進計画「ずし健康食育プラン」の概要

事務局より逗子市健康増進・食育推進計画「ずし健康食育プラン」、資料1を用いて説明した。

（2）令和7年度健康増進食育推進事業の取り組み評価

事務局より資料2と参考資料1を用いて説明した。

説明や資料に関する質疑応答・意見等は以下のとおりであった。

・重点項目はあるのか。前年度との比較で重点的にこれを行ったというものがあれば教えてほしい。

⇒説明した評価のための指標の3つが重点課題。これを総合的にやっていこうということ。会議のなかで重点項目として審議したことはない。取り組み内容の詳細については参考資料2に記載。

・令和7年度、新規に取り組んだものはあるか。

⇒栄養の部分では新規ものは特段なし。継続事業の取組を進めているもの。運動の部分は子育て支援課の子ども塾、文化スポーツ課のニュースポーツと情報があつた。

・ニュースポーツといっても色々な競技がある。ニュースポーツについてスポーツ協会より説明あるか。

⇒逗子市スポーツ協会：ニュースポーツについて 令和7年度より展開しているものはピククルボール。年間8回程度実施。スポーツ推進員がニュースポーツ取り入れ、そこで人気が出れば推進員は手を引き、別のニュースポーツを取り入れるようなことも行っている。

・この報告は、令和7年度の全体項目の評価を一覧にしたもの。重点項目については、この評価を受け

て、どう進行管理していくのか。この評価から今後どうするか、ここが弱いので強化するのかなどは、次の段階になるのではないかと思う。

（３）令和８年度健康増進食育推進事業の取り組み予定

事務局より資料３と参考資料２を用いて説明した。

次に、健康増進・食育推進の取り組みについて情報交換を行い、内容は以下のとおりであった。

<関係団体・市民メンバーより>

- ・国保健康課との取り組みとしてシセイカルテ分析を実施。男性の健康料理教室（年３回）では、スポーツ協会の職員が出向き、簡単な運動指導、逗子アリーナのPRを行っている。
- ・健診業務を担当。健診は、病気を見つけるものだけではなく、今の自分の体の状態を知るために受けるもの。結果を見るだけで終わりにしない、昨年度と比べてどうかを考えることに意味がある。生活習慣病は症状がなくても進行しているものもある。将来の病気を予防して健康に過ごすために役立ててほしい。
- ・食と健康について（適正体重の維持、バランスの良い食事）の主に２本立てで依頼講座を実施している。高校からの依頼もある。事前アンケートにて理想のBMIは18台との回答多数。適正体重の大切さを伝えたい。小さいうちから適正体重の維持を刷り込みたい。「共食」の推進でも協力予定。
- ・男性の料理教室では、料理以外でのコミュニケーションの場にもなっている。またヘルスメイト養成講座は、食生活のボランティア興味がある方募集中。子育て支援課の手伝いで離乳食教室は、野菜スープやお粥の提供、社会教育課と一緒に親子料理教室、その他シニアカフェ等の活動を行っており、現在42名の会員で活動している。
- ・さかなさばき方教室で関わる予定。もっとねらいを漁業協同組合として打ち出していく必要があるのではと考えている。地域づくりの中で食は切り離せない。海のことを知らない（磯焼けが進んでいる、海の環境変化が進んでいる）、小坪漁港で水揚げされた魚を食べたことがないという現状もある。わかめ、しらすだけではないという情報発信も必要。からだや心の健康が食とつながっていく可能性も感じる。家族で舟に乗る体験もやっていたり、小坪小学校の給食にわかめを取り入れたり、今後様々な取り組みを検討していきたい。
- ・虹の会に参加。田んぼ、畑、果樹園、手作りかまどあり。釜焚きごはんや手づくり野菜、漬物にシンプルなものにおいしさを感じる。体験をもっと広げていきたい。かまどは震災時に活用されると期待。
- ・発表のなかで令和７年度新規で行ったことはたくさんあることが分かった。関係課が担当会議を開催していることは、モデルとして他事業でも展開していくことに期待。他課でのイベントのスケジュールを把握することでチラシ配架等協力できるのではないかと思った。
- ・逗子の歴史に興味があり、逗子には遺跡がそのまま残る過去からずっと人が住んでいる＝逗子は住みやすい街ということ。自然のなかでいかに健康に過ごすか。仲間を作る手立ては、健康教室等で得ている。

<アドバイザーより>

- ・事業が多く、色々な取り組みをしている。事業評価について、令和６年度と７年度で変化を見比べようと思ったが難しく、令和７年度で新たな取り組みが追加したり、無くなったりがあるかもしれない。単年度だけではなく、経年の変化をみていけるようにできたらと思う。同じような事業実施でも、評価が

上げ下げしているのはなぜか、その理由も知りたいと思った。

- ・担当者会議は大きな組織だとできないので、逗子ならではの取り組み。縦割ではなく横のつながりで実施・充実してきているように思う。
- ・庁内各課の連携はできてきている。次の段階として、地域の団体や市民との連携を考えていく。現在、本計画の評価は庁内各課が行っている取り組みに限られているが、本懇話会で各メンバーからの報告があった内容からも、既に地域で取り組んでいるものが沢山あり、そういったものも可視化できたらより良いものになると思う。

（４）逗子市地域福祉計画進行管理について

事務局より資料４を用いて説明。全体的な進行管理としては、「事業の進捗を管理しながら、全体として計画的に進められている」と考えていることを説明した。

地域の関係機関と連携といった内容も含めてほしいという意見があり、懇話会意見としては、事業の進捗を管理しながら、全体として計画的に進められているが、今後は地域との連携に注力をされたい。とすることを確認した。

逗子市地域福祉計画の懇話会には、本懇話会から１人メンバーを推薦しており、今年度については、逗子市スポーツ協会の石原さんを推薦したいと考えていることを伝え、アドバイザー、メンバーから同意を得た。

３ その他

国保健康課長より閉会の挨拶を行った。

４ 閉会

次回の懇話会は令和９年２月頃を予定。

以上